



平川市議会会議録

一般質問の全文は平川市ホームページで読むことができます。  
インターネットで「平川市議会 会議録」と検索するか  
QRコードをご利用ください。

# 一般質問

## 平川市の今とこれから 一般質問



今回は**11名**の議員が質問しました

平川市のいろいろな課題等について、議員が市に考えを聞くのが**一般質問**。

全質問項目は下表のとおりです。

議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋・要約して記載しております。

質問事項	質問議員	ページ
外国人労働者の就労	水木 悟志	P2
農地耕作条件改善事業（RTK-GNSS基地局整備）	葛西 厚平	P3
上下水道のインフラの劣化	葛西 厚平	
医療機関減少の弊害と対策	葛西 厚平	
平川愛	葛西 厚平	
平川市の地域振興策	小野 誠	P3
平川市地域活性化	小野 誠	
若い職員の離職防止と人材確保	北山 弘光	P4
尾上分庁舎の改修予定	北山 弘光	
自治体の公共施設の在り方	齋藤 剛	P4
学校給食費無償化等子育て支援交付金	葛西 勇人	
デジタル地域通貨の導入	葛西 勇人	P5
公園併設ドッグランの設置による実証実験	葛西 勇人	
後期高齢者対策	佐藤 保	
クマ対策	佐藤 保	P5
平川市の消滅可能性対応	佐藤 保	
児童生徒のヘルメットの着用率向上	桑田 公憲	P6
小学校の統合	桑田 公憲	
ごみ処理の広域化	桑田 公憲	
新型コロナウイルスワクチン定期接種事業と予防接種の健康被害	齋藤 律子	
尾上分庁舎大規模改修	齋藤 律子	
物価高騰、円安、株価乱高下など昨今の経済情勢	齋藤 律子	
加齢性難聴者に対する補聴器購入の助成	齋藤 律子	P6
冷水機の設置	中畑一二美	
インクルーシブ遊具の設置	中畑一二美	
軟骨伝導イヤホンの導入	中畑一二美	P7
碓ヶ関地域のデマンド交通	中畑一二美	
再生可能エネルギー	石田 昭弘	
弘南鉄道	石田 昭弘	P7

### 外国人労働者の就労

安心して就労でき、住みやすい、人間関係を築ける環境整備を



みずき さとし  
水木悟志 議員

**議員** 当市で就労している外国人労働者数と業種は。

**答** 令和6年5月末時点の外国人住民は81人で、在留資格は特定技能30人、技能実習24人、教育2人、その他25人です。労働者の業種については把握していません。

**議員** 空き家を外国人労働者のアパート等に活用するほか、家賃補助等の

支援はできないか。

**答** 空き家は所有者の責任のもとで適切に管理すべきものであり、市が賃貸や売買等のあっせんに関与することはありません。労働環境の整備については、雇用者側が考慮すべき条件と考えます。

**議員** 外国人労働者は1人で来日し、地域との触れ合いがなく寂しさを抱えて就労していると思わ

れる。地域の方々と交流する施設や機会の確保が必要では。

**答** 市では施設確保や交流の機会を特別に設けることは実施していません。しかし、異国の地で働く不安や寂しさは人一倍であると推察されるため、市の公共施設を大いに活用し、言葉の壁を越えた地域との交流体制が模索できればと考えます。



世界一の扇ねぶた運行に参加する外国人労働者

#### ※1 農地耕作条件改善事業

農業者が農家を継続できる環境を整えるため、地域のニーズに沿ったきめ細やかな基盤整備や、高収益作物への転換、地域特産物等の害虫対策、水田の貯留機能向上のための畦畔整備等及びスマート農業といった先進的な営農体系の導入を支援する事業。

## 平川市の地域振興策



持続可能な青森県のための  
人材育成が大事です

おの まこと  
**小野 誠** 議員

**議員** 柏木農業学校は歴史と伝統のある中南地区唯一の農業高校であり、幅広い分野で活躍する人材を輩出してきましたが、年々入学者が減少している。新規事業である地域おこし協力隊制度を活用した魅力化コーディネーター<sup>※2</sup>の設置状況と、その業務内容は。

**答** 現在、募集業務のサポート事業者と委託契約を締結し、7月からの募集開始を目指して高校側と調整を進めています。農業系学科のある高校や、全国募集の先駆けである高校を視察し、柏木魅力化コーディネーターには高校と地域や行政をつなぐ役割のほか、高校の魅力発信やPR活動、県外生徒のサポート等の業務を担っていただく予定です。

**議員** 市及び県内外の中学生や保護者へのPR強化として、柏木農業高校に通学する市外生徒に通学定期券購入費用の補助ができないか。

**答** 志願者の増加に向けて全国からの生徒募集も大事ですが、まずは圏域からの生徒確保が重要と考えます。当市には尾上総合高校も所在しており、公平性の観点から慎重に検討する必要があります。



柏木農業高等学校

## 農地耕作条件改善事業 (RTK-GNSS基地局整備)



基地局整備の実現に向けて

かさいこうへい  
**葛西厚平** 議員

**議員** これまでのスマート農業に係る平川市の取組は。

**答** 令和3年度より、農業用ドローンやロボット草刈機などの導入を支援するスマート農業導入支援事業を実施し、スマート農業の普及促進に取り組んでいます。

**議員** GNSS基地局とは、GPSの電波の誤差を修正するシステムのこ

とで、トラクターの自動操舵や直進アシスト、ロボットトラクター、オート田植機が利用されている。平川市も農地耕作条件改善事業<sup>※1</sup>に着手すべきと考えるが、市の見解は。

**答** 当市では、既にスマート農業機械を導入している農業者がおり、安価に共同利用できる基地局の設置を望む声があ

がっています。県では、GNSS基地局の整備について、津軽地域で順次進めています。中南地域はいまだに整備されていない状況にあります。整備に当たり、県営事業で進めるためには、市から県に要望する必要があります。ため、実現に向けて県や近隣市町村、農協などと協議していきたいと考えています。



ドローンに肥料を積み込んでいる様子

※2 魅力化コーディネーター

高校と地域をつなぎ、魅力ある教育環境を作る役割のこと。地域の人口減少、高校の統廃合による人口流出により消滅の危機にある地域に、新しい流れを作り、県外の生徒にも入学したいと思える仕組みを作ることで、持続可能な地域づくりを目指す。

## 自治体の公共施設の在り方

公共施設を有効に使っては

さいとう 齋藤 たいけい 剛 議員



**議員** 学校の統廃合がある場合、学校施設への過剰な投資は避け、計画的な工事を行うべきと考えるが、市の考えは。

**答** 仮に統合が決まった学校であっても、在学中の児童生徒の安全確保のため、老朽化による修繕や危険箇所への対策は必要と考えます。

**議員** 高齢者ふれあいセンターの廃止が延期と

なったが、廃止となるときの源泉の取扱いは。

**答** 施設の廃止に伴い、源泉も廃止する考えです。

**議員** 投資した施設を廃止するのはもったいないと考える。例えば、ひらかドームの施設内暖房や融雪に使ったり、温泉施設等の管理を町会へ委託する考えはあるのか。

**答** ひらかドームの施設内暖房とする場合、結露

した水が凍結して落下する危険があるという問題があります。現在は、全体の暖房ではなく、ベンチに温熱ヒーターを入れる方法をとっています。また、町会へ委託する考えについては、温泉施設の維持管理は非常に経費がかかり、ほかの温泉組合なども辞めていっていることから、難しいと考えています。



ひらかドームのグラウンド

## 若い職員の離職防止と人材確保

若い職員の減少は、住民サービスの低下等につながります

きたやまひろみつ 北山弘光 議員



**議員** 市が取り組んでいる若手職員の離職防止に向けた対策は。

**答** 課長補佐級の職員から相談員を選出し、職員との相談を受け付けることや、産業医主導の下で、ストレスチェックや健康相談を実施すること、人事評価の際に、職員と上司が面談を行い、助言を受けられる機会を設けています。

**議員** 優秀な人材確保のための取組は。

**答** 日本全国の主要都市での受験を可能とするテストセンター方式を導入し、一定数の受験者数を確保しています。また、職員採用案内パンフレットを作成し、県内の高校や大学等に配布しています。

**議員** 離職防止と組織の活性化を図るために、若手職員の意見や要望を吸

い上げるべきと考えるが、市の見解は。

**答** 市では例年、管理職以外の職員対象のアンケート調査により、職員の意見や要望を把握し、適材適所の人員配置及び本人のキャリア形成の推進に活用しています。また、市の振興に有用である実践的なアイデアを募集するまちづくり職員提案制度も実施しています。



市が配布している職員採用案内パンフレット

### 議会miniコラム 蓬田村議会行政視察受入

令和6年6月28日、蓬田村議会のみなさまが「タブレット端末等の設置・運営状況について」を視察されました。

## クマ対策



市のこれからの対策に期待します

さとう たけし 議員  
佐藤 保

**議員** 令和5年は、過去最多のクマ出没と人的被害が発生している。クマ類が指定管理鳥獣になると、市の対応はどのように変わるのか。

**答** 国または県が計画を策定し、クマの捕獲事業を実施できるようにあります。今般のクマ類の指定による市の対応は特にありません。

林が野生動物のすみかとなっており、クマも例外でなく、最優先に解決すべき問題であると考え。令和4年に淀ヶ関でクマの人的被害があったにも関わらず、対応の手ぬるさを感じる。市の新たなクマ対策の状況は。

**答** 平川市鳥獣被害対策協議会では、目撃があったときの速やかな看板やわなの設置、学校との情

報共有、SNSでの情報発信を行います。また、追加のわな購入や猟友会の会員確保による体制強化を行っています。市は引き続き、平川市鳥獣被害防止計画に基づき、クマ被害の未然防止に努めます。耕作放棄地については、放任園発生防止対策事業やパトロールを行い、管理不十分な農地があれば、所有者に指導します。



市内に設置された看板

## デジタル地域通貨の導入



市の課題解消のために

かさいはやと 議員  
葛西 勇人

**議員** 市民の行動を促すインセンティブとしてデジタル地域通貨を導入することで、ボランティア活動や農家等での就労等に対してポイントを付与することが可能になり、住民参加の促進が期待できる。また、そのポイントは地域内のみ利用できるため、地域経済の活性化にもつながると考える。当市でもデジタル地域通

貨の導入を検討すべきと考え、市の見解は。

**答** 導入における課題は、利用する店舗に、それに対応したキャッシュレス決済端末を導入する必要があること、QRコード決済等と競合するため、メリットを継続的に提供していく必要があること、スマートフォンを持っていない方に、専用カード等を準備する必要がある

ことが挙げられることから、導入費用やランニングコスト、費用対効果などを考えると導入は難しいと考えます。

**議員** 人口減少や少子高齢化が進む当市において、ボランティア精神だけでは地域活動も限界にきており、地域事業者の経営も厳しい状況となっている。今後、この打開策を継続調査していきたい。



### 議会miniコラム 富山県上市町議会行政視察受入

令和6年7月24日、富山県上市町議会のみなさまが政策推進課による「LINE」の公式アカウント（スマホ支所）をつかった各種証明書の申請、その他機能について」を視察されました。



## 加齢性難聴者に対する補聴器購入の助成

令和7年度の予算化を期待します

さいとうりつこ  
齋藤律子 議員



**議員** 高齢になると難聴になり、聞き間違いが多くトラブルになるなど、周囲とのコミュニケーションが取りづらくなることで、日常生活に不便を来している方が多い。また、補聴器は非常に高額で、年金生活者には大変負担が大きい。高齢者の生活支援、社会参加の促進、認知症のリスク軽減のため、高齢者中等

度の難聴者に対する補聴器の購入助成が望まれるが、市の考えは。  
**答** 聴覚障がいによる身体障害者手帳の交付対象者には、国・県の補助を受けた購入助成、18歳以下で手帳の交付対象にならない軽度・中等度難聴の方には、県の補助を受けた購入助成がありますが高齢者の難聴者には公的助成の対象がありません

ん。国に新たな動きがないため、令和6年度から、市独自の助成制度の検討を開始しています。現在は先進事例の情報収集、制度設計を行っており、助成額や対象者などについて検討しています。また、事業実施のときには、難聴が認知症発症の危険因子であること、補聴器の使用が有効対策であることを周知します。



## 児童生徒のヘルメット着用率向上

交通事故の被害軽減のための取組を

くわ たきみのり  
桑田公憲 議員



**議員** 児童生徒を対象に令和5年度から実施しているヘルメット購入費補助金事業の内容は。  
**答** 中学生と入学前の小学6年生を対象に、3,000円を上限としてヘルメット購入費用の2分の1を補助するものです。令和5年度の実績は支給件数が21件、支給額が4万8,300円でした。

現物支給が有効と考えるが、市の考えは。  
**答** 各学校の安全教室におけるヘルメット着用を含めた安全指導の徹底をお願いしていますが、ヘルメット購入費補助金の申請が少なく、改正道路交通法による着用の重要性がまだ浸透していない状況です。法律上は努力義務であるため、着用を義務付けることに理解が

得られるかは難しい状況ですが、学校関係者の意見を聞き、現物支給の実施も視野に入れ、着用率向上に取り組みたいと思います。  
**議員** あくまで着用は努力義務だが、子どもたちの命を守るためにも、交通安全の意識を高め、自転車ヘルメットの現物支給については前向きな検討を望む。



## 弘南鉄道



安全確保の強化を

いし た あきひろ  
石田昭弘 議員

**議員** 中佐渡踏切の敷板が腐食し、鉄板を固定するねじが緩み浮き上がっている。鉄板がずれてレールに乗り上げ、脱線等の事故が発生しないよう、補修工事を要請するべきと考えるが、市の見解は、

**答** 全面的な補修が必要と判断し、今年度より計画的に工事を行うこととして、修繕計画が見直されています。

**議員** 今年4月6日に、群馬県高崎市のローカル線の踏切で、小学校4年生の女児が亡くなるという痛ましい事故があり、第4種踏切を全て廃止する方針となった。弘南線には、第4種踏切2か所と登録なしが1か所ある。登録なしの踏切があること自体異常で、敷板も腐食し、ぐらついているが、弘南鉄道の経営者はこの

実態を知っているのか。早急に対策を講じるよう働きかけるべきと考えるが、市の見解は、

**答** 弘南鉄道で、その実態を知っていなければ、確認しながら進めていきたいと思いますが、あくまでも、連絡調整会議の場において沿線自治体と情報を共有して、何ができるかを確認していきたいと思えます。



中佐渡踏切の状況

## 軟骨伝導イヤホンの導入



市と来庁者の双方にメリットがあります

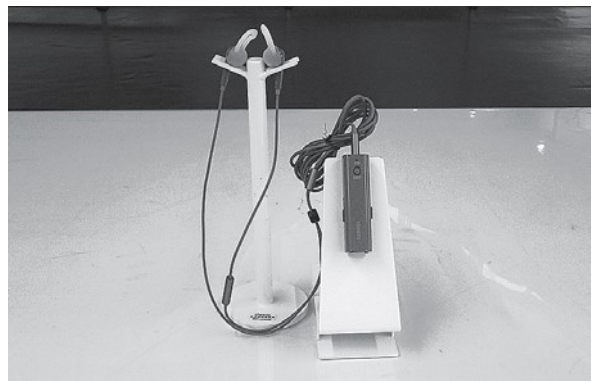
なかはた ひ ふ み  
中畑一二美 議員

**議員** 軟骨伝導イヤホンは、軟骨を振動させて音を伝える仕組みで、耳が聞こえにくい方との会話では、大きな声でなくてもいいため、個人情報を守られる。全国的に軟骨伝導イヤホンを窓口を設置する自治体が増えてきており、市と来庁者の双方において、非常に利便性が高いと考える。耳が聞こえにくい高齢者や難

聴者向けに、窓口に軟骨伝導イヤホンを設置してはどうか。

**答** 当市では、来庁者の負担軽減のため、住民票などの申請書を書かずに申請できる書かない窓口システムを導入し、担当者が聞き取りにより申請書を作成しています。高齢者など耳の遠い方に対しては、分かりやすい言葉でゆっくり話をする、

筆談を交えるなど、相手が理解できているかを確認しながら対応しています。軟骨伝導イヤホンは、金融機関、医療機関などで広く設置されており、音が明瞭であること、音漏れがしにくいことから、個人情報に配慮した対応ができ、耳の遠い方も利便性が向上すると考えており、設置に向けて検討します。



本庁舎総務課、尾上及び碓ヶ関総合支所に導入されました

### 議会miniコラム 津軽南市町村議会連絡協議会定期総会

令和6年7月23日、ふれあいずーむ館（藤崎町）で開催された、津軽南市町村議会連絡協議会定期総会に石田隆芳議長、葛西勇人副議長が出席しました。

